

會 告 日本鐵鋼協會

日本標準規格 私費印刷分讓の件

1. 内容、形式、寸法共 商工省御編纂 のものと同一なり。
2. 代金は 1 枚に付き 金壹錢也とす。
但し郵税は實費。第四種郵便にて 17 枚迄で 2 錢 18 以上 36 枚迄で 4 錢 其れ以上は 20 枚内毎 2 錢増しのこと。

本會の發行 日本標準規格目次

規格番號	類別番號	名稱	決定年月日	商工省告示番號	右同告示年月日	枚數	規格番號	類別番號	名稱	決定年月日	商工省告示番號	右同告示年月日	枚數
第1號	B1	金属材料抗張試験片	11.10.19	43	14.3.5	2	40	H1	銅板	15.6.23	30	2.10.22	3
2	B2	針金の徑、薄板の厚及其の稱呼	〃	44	〃	1	41	H2	黃銅板	〃	31	〃	3
3	Z1	寸法標準數	13.3.27	17	14.9.18	1	42	H3	アルミニウム板	〃	32	〃	3
4	Z2	等比標準數	〃	〃	〃	1	43	H4	銅棒	〃	33	〃	3
5	G1	鍛鋼品	〃	9	〃	4	44	H5	ネーバル黃銅棒	〃	34	〃	3
6	G2	鑄鋼品	〃	10	〃	4	45	H6	高力黃銅棒	〃	35	〃	3
7	G3	鑄物用銑鐵	〃	11	〃	1	46	H7	火延黃銅棒	〃	36	〃	3
15	G4	水管罐用繼目無鋼管	14.3.27	18	15.10.26	3	47	H8	挽物用黃銅棒	〃	37	〃	2
16	G5	圓罐用繼目無鋼管	〃	19	〃	3	48	H9	繼目無鋼管	〃	38	〃	3
17	G6	機關車罐用繼目無鋼管	〃	20	〃	2	49	H10	機關車罐用繼目無鋼管	〃	39	〃	2
18	G7	一般用繼目無鋼管	〃	21	〃	3	50	H11	復水器用繼目無黃銅管	〃	40	〃	2
19	G8	瓦斯管	〃	22	〃	1	51	H12	復水器パツキング	〃	41	〃	2
20	G9	構造(橋梁、建築其他)用壓延鋼材	〃	23	〃	6	52	H13	一般用繼目無黃銅管	〃	42	〃	3
21	G10	造船用壓延鋼材	〃	24	〃	5	53	H14	銅地金	〃	43	〃	1
22	G11	罐用壓延鋼材	〃	25	〃	6	54	K1	銅地金分析方法	〃	18	昭和 3.5.23	12
23	G12	鐵道車輛用壓延鋼材	〃	26	〃	6	55	K2	鐵及鋼炭素分析方法	昭和 2.10.3	20	4.5.13	5
24	G13	壓延鋼材の寸法及重量の公差	〃	27	〃	2	56	K3	鐵及鋼珪素分析方法	〃	〃	〃	5
25	G14	標準棒鋼	昭和 2.10	3	昭和 4.5.13	4	77	G18	罐用繼目無鋼管の寸法	昭和 3.10.18	32	5.6.2	13
26	G15	標準形鋼	〃	29	〃	16	78	G19	一般用繼目無鋼管の寸法	〃	23	〃	24
36	B8	管用ねじ	大正 15.6.23	26	昭和 2.10.22	1	79	G20	可鍛鑄鐵品	〃	24	〃	〃
37	B9	管接手ねじ	〃	27	〃	1	80	G21	水道用鑄鐵管	〃	25	〃	〃
38	G16	瓦斯管の寸法	〃	28	〃	1	81	H15	水道用鉛管	〃	26	〃	〃
39	G17	銑	〃	29	〃	9	82	H16	亞鉛地金	〃	27	〃	〃
							83	K4	亞鉛地金分析方法	〃	〃	〃	〃

以上の外設計上の参考及製作規格等本會に關係するも多々あれども追ふて發行するものとす。

實物寸法 1.57mm 一四寸五分五厘

JES	日本標準規格	第55号
鐵及鋼炭素分析方法		類別 K2
		頁 1

第一章 總則

第一条 本規格、鐵及鋼炭素分析方法ニ之ヲ適用
 第二条 鐵及鋼炭素分析方法ニ次ノ3種トス
 一、炭素鋼及鐵炭素分析方法
 二、特殊鋼炭素分析方法
 三、合金鋼炭素分析方法

第二章 炭素鋼及鐵炭素分析方法

第三条 本章ノ炭素分析方法ニ含メテ、遊離炭素及化合炭素ノ定量法トス
 第四条 全炭素定量法ニテノ事トス

一、要旨
 鉄ヲ形式地法ニ依リ直接ニ鉄素ノ溶液中ニ於テ強ク熱シ炭素ヲ完全ニ酸化シテ炭酸瓦斯トシテ之ヲ普通石灰又ハ普通石灰ニ吸収セシメ炭素ノ重量ヲ測定ス

二、装置 (相因参照)
 (一) 炭素分析用装置
 本装置ニ瓦斯槽 (a) ニ貯ヘタル炭素瓦斯ヲ其ノ中ニ含有スル炭酸瓦斯又ハ有機性炭素等ヲ除去シ且消淨炭素ノ炭酸ガス、酸和炭酸 (硫酸比重 1.82) フラスコ内 (b)、普通石灰又ハ普通石灰ノ塊ニ炭素 (a) 及炭酸 (比重 1.84) フラスコ (c) フラスコニ炭素ヲ注入ス

(二) 炭酸ガス
 炭酸ガスノ内径約 3cm ノ管状電氣炉 (f) 又ハ適當ノ瓦斯炉ニシテ電流又ハ瓦斯ヲ供給シ「バイロメーター」ニ依リ其ノ中央部ニ於テ長約 15cm ノ一定温度ニ保持シ得ヘキモノトス
 炉ニハ北ノ兩端ニ約 15cm 奥面ニ得ヘキ長ヲ有スル内径約 2cm ノ磁製炭酸管 (g) ヲ挿入ス又炭酸管中ニ挿入セラルヘキ磁製「ポート」ノ位置ノ後方約 10cm ニシテ白金石棉、「パラグナム」石棉又ハ酸化鉄石棉ヲ挿入スルモノトス

(三) 瓦斯吸收装置
 本装置ニ炭酸ガスヲ因テ炭素ヲ吸收セシムルニ「クロム」酸和炭酸 (硫酸比重 1.82) フラスコ (h)、五酸化磷ヲ用ルニシテ (i) 及普通石灰又ハ普通石灰ヲ用ルニシテ (j) 後部約 2cm ノ厚ニ五酸化磷ヲ挿入スルモノトス炭酸瓦斯吸收

昭和二年十月三日 決定 工業品規格統一調査會